

■ 調査票A (子ども・子育て支援に関する調査) <就学前児童の保護者用>

【概要】

子ども・子育て支援法に基づき、5年ごとの実施が義務付けられている調査であり、就学前及び小学生の子どもがいる世帯の保護者を対象に、教育・保育施設のニーズや子育て支援サービスの利用状況等を把握するために実施します。

※分類の「国」は国から指定された項目、「大阪府」は大阪府から指定された項目、「独自」は本市が追加した独自項目

枠	分類	設問番号	内容	備考
属性	国	1	居住地区	
	国	2	回答者	
	国	3	配偶関係	
	国	4	子どもの生年月	
	国	5	子どもの人数・末子の生年月	
家庭の状況	大阪府	6-1	母親が日ごろ家事・育児に費やす時間(平・休)	
	大阪府	6-2	父親が日ごろ家事・育児に費やす時間(平・休)	
	独自	7	母親の家事・育児にかかる時間に対する父親の満足度	前回調査(H30)からの継続項目
	独自	8	父親の家事・育児にかかる時間に対する母親の満足度	前回調査(H30)からの継続項目
育ちの環境	国	9	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	
	国	10	祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況	
	国	11	友人・知人に子どもをみてもらっている状況	
	国	12	子育てに関する相談者・場所の有無	
	国	13	子育てに関する相談者・場所	
保護者の就労	国	14	母親の現在の就労状況	
	国	15	母親の1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	
	国	16	就労している母親の外出時間・帰宅時間	
	国	17	母親のフルタイムへの転職希望	
	国	18	父親の現在の就労状況	
	国	19	父親の1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	
	国	20	就労している父親の外出時間・帰宅時間	
	国	21	父親のフルタイムへの転職希望	
	国	22-1	現在就労していない母親の就労希望	
	国	22-2	現在就労していない父親の就労希望	
定期的な保育	国	23	定期的な教育・保育の事業の利用状況	
	国	24	平日利用している教育・保育の事業	
	国	25-1	現在利用している日数・時間	
	国	25-2	希望する日数・時間	
	国	26	利用している教育・保育事業の主な実施場所	
	国	27	教育・保育の事業を利用していない理由	
	独自(今回追加)	28-1	こども誰でも通園制度	「こども誰でも通園制度(仮称)」の本格実施を見据えた、未就園児の保育ニーズ分析のため
	独自(今回追加)	28-2	希望する日数・時間	
	国	29	定期的に利用したい教育・保育の事業	
	国	30	教育・保育の事業を利用したい場所	
国	31	幼稚園の利用の希望		
無償化	独自	32	堺市における幼児教育・保育の無償化の内容の認知度	前回調査(H30)からの継続項目
	独自(今回追加)	33	第2子以降の無償化による居住地の選択や定住の判断への影響	市独自施策の認知度・人口誘導(定住)促進の寄与度を把握するため。
病気の対応	国	34	子どもが病気や怪我で事業が利用できなかった経験	
	国	35	子どもが病気または怪我の際の対応方法	
	国	36	病児保育等施設の利用意向と希望日数	
	国	37	病児保育施設等の望ましい事業形態	
	国	38	病児保育施設頭を利用したくない理由	
土日・長期休	国	39-1	土曜日の定期的な教育・保育の利用希望	
	国	39-2	日曜・祝日の定期的な教育・保育の利用希望	
	国	40	不定期な利用を希望する理由	
	国	41	長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望と希望時間(幼稚園の利用者のみ)	
	国	42	不定期な利用を希望する理由	
不定期保育	国	43	不定期に利用している事業と1年間の利用日数	
	国	44	利用していない理由	
	国	45	不定期の教育・保育の事業の利用意向と必要な日数	
	国	46	不定期の教育・保育の事業の望ましい事業形態	
	国	47	子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験、対処方法、日数	
地域の事業	国	48	地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用頻度、利用時間帯	
	国	49	利用を希望する日・時間帯	
	国	50	地域子育て支援拠点事業に希望すること	
	国	51	今後の利用意向または利用日数の増加希望	
	独自	53	児童虐待に関する連絡先の認知度	前回調査(H30)からの継続項目
小学校	国	54	小学校入学後の放課後の過ごし方(小学校低学年(1~3年生))	
	国	54	放課後児童クラブの利用状況・希望(小学校低学年(1~3年生))	
	国	55	小学校入学後の放課後の過ごし方(小学校高学年(4~6年生))	
	国	55	放課後児童クラブの利用状況・希望(小学校高学年(4~6年生))	
	独自(今回追加)	56	小学校入学後の生活において、不安に感じていること【小1アプロブレム】	就学前における不安の把握と、不安解消のために必要な方策の検討のため
独自(今回追加)	57	不安に対し、何らかの対処をするか・したか【小1アプロブレム】		

枠	分類	設問番号	内容	備考
育児休業	国	58	育児休業の取得経験の有無（父母）	
	国	58	取得していない理由	
	独自（今回追加）	59	育児介護休業法の改正に伴う育児休業取得回数	当該設問枠が、制度の利用状況を把握するための内容であることから、直近の制度改正された「2回目取得」についての利用状況も確認し、保育の要件「育児休業」の取扱いの検討にも活用するため。
	国	60	育児休業取得後の復帰（母親・父親）	
	国	61-1	育児休業取得後の復帰時期（母親）	
	国	61-2	育児休業取得後の復帰時期（父親）	
	国	62-1	3歳まで休暇を取得できた場合の希望期間（母親）	
	国	62-2	3歳まで休暇を取得できた場合の希望期間（父親）	
	国	63-1	希望より早く復帰した理由	
	国	63-2	希望より遅く復帰した理由	
	国	64-1	1歳になるまで育児休業を取得、あるいは1歳より前に復帰希望（母親）	
国	64-2	1歳になるまで育児休業を取得、あるいは1歳より前に復帰希望（父親）		
子どもの生活習慣	独自（今回追加）	65	小学校入学後の子どもの生活習慣で想定していること【朝食の摂取状況、共食の状況、平日のスクリーンタイム】	就学前から就学後での生活習慣の変化の把握のため。
子育て環境	国	66	子育てを楽しんでいるか	
	独自	67	子どもが日頃楽しく過ごしているか	前回調査（H30）からの継続項目
	独自	68	子どもができてからの地域の状況の変化の有無	前回調査（H30）からの継続項目
	独自（今回追加）	69	地域の子どもの遊び場について感じる事（就学児調査より）	就学前児童の遊び場の活用状況とそれに対する不満の把握のため（就学後と共通項目にして比較する）
	国	70	堺市の子育て環境への満足度	
	独自	71	堺市の子育て環境への不満の理由	前回調査（H30）からの継続項目
	国	72	市の子育て支援施策に関する意見・要望（自由記述）	

■ 調査票A (子ども・子育て支援に関する調査) <小学生の保護者用>

【概要】

子ども・子育て支援法に基づき、5年ごとの実施が義務付けられている調査であり、就学前及び小学生の子どもがいる世帯の保護者を対象に、教育・保育施設のニーズや子育て支援サービスの利用状況等を把握するために実施します。

※分類の「国」は国から指定された項目、「大阪府」は大阪府から指定された項目、「独自」は本市が追加した独自項目

枠	分類	設問番号	内容	備考
属性	国	1	居住地区	
	国	2	回答者	
	国	3	配偶関係	
	国	4	子どもの生年月	
	国	5	子どもの人数・末子の生年月	
家庭の状況	独自 (今回追加)	6	子どもの生活習慣【朝食の摂取状況、共食の状況、平日のスクリーンタイム】	・就学前から就学後での生活習慣の変化の把握のため。 ・インターネット利用時間と、子どもと過ごす時間等、食事との関連性の把握のため。
	大阪府	7-1	母親が日ごろ家事・育児に費やす時間 (平・休)	
	大阪府	7-2	父親が日ごろ家事・育児に費やす時間 (平・休)	
	独自	8	母親の家事・育児にかかる時間に対する父親の満足度	前回調査 (H30) からの継続項目
	独自	9	父親の家事・育児にかかる時間に対する母親の満足度	前回調査 (H30) からの継続項目
育ちの環境	国	10	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	
	国	11	祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況	
	国	12	友人・知人に子どもをみてもらっている状況	
	国	13	子育てに関する相談者・場所の有無	
	国	14	子育てに関する相談者・場所	
保護者の就労状況	国	15	母親の現在の就労状況	
	国	16	母親の1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	
	国	17	就労している母親の外出時間・帰宅時間	
	国	18	母親のフルタイムへの転職希望	
	国	19	父親の現在の就労状況	
	国	20	父親の1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	
	国	21	就労している父親の外出時間・帰宅時間	
	国	22	父親のフルタイムへの転職希望	
	国	23-1	現在就労していない母親の就労希望	
	国	23-2	現在就労していない父親の就労希望	
放課後児童クラブ	大阪府	24	放課後児童クラブの利用状況	
	大阪府	25-1	放課後児童クラブの利用日数・利用時間 (現在)	
	大阪府	25-2	放課後児童クラブの利用日数・利用時間 (希望)	
	大阪府	26	放課後児童クラブを利用している理由	
	大阪府	27-1	放課後児童クラブの利用意向・希望時間帯 (土曜日)	
	大阪府	27-2	放課後児童クラブの利用意向・希望時間帯 (日曜日・祝日)	
	大阪府	28	たまに利用したい理由	
	大阪府	29	放課後児童クラブに希望すること	
	大阪府	30	小学4年生以降の放課後の過ごし方についての希望	
	大阪府	30	放課後児童クラブを何年生まで利用したいか	
	大阪府	31	放課後児童クラブを利用していない理由	
	大阪府	32	放課後児童クラブの今後の利用意向	
	大阪府	32	土曜日の利用希望・希望利用時間	
	大阪府	32	日曜日・祝日の利用希望・希望利用時間	
地域拠点生活	独自	33	地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用頻度	前回調査 (H30) からの継続項目
	独自	34	今後の利用意向または利用日数の増加希望	前回調査 (H30) からの継続項目
	独自	35	知っている・現在利用している・利用したことがある・今後利用したい事業	前回調査 (H30) からの継続項目
	独自	36	児童虐待に関する連絡先の認知度および連絡したことの有無	前回調査 (H30) からの継続項目
子育て環境	国	37	子育てを楽しんでいるか	
	独自	38	子どもが日頃楽しく過ごしているか	前回調査 (H30) からの継続項目
	独自	39	子どもができてからの地域の状況の変化の有無	前回調査 (H30) からの継続項目
	大阪府	40	地域の子ども遊び場について感じること	
	独自 (今回追加)	41	家族の中のヤングケアラーの有無・世話をする人・世話の内容	ヤングケアラーに該当する子どもの割合と、具体的にどのような内容の支援や介助を行っているかを把握。
	独自 (今回追加)	42	子どもがインターネットを利用する際の「インターネットの使い方のルール」の有無	子どものインターネット利用時間との関連性 (ルールの有無で利用時間を抑制できているか) の分析のため。
	国	43	堺市の子育て環境への満足度	
	独自	44	堺市の子育て環境への不満の理由	前回調査 (H30) からの継続項目
	国	45	市の子育て支援施策に関する意見・要望 (自由記述)	

■ 調査票B（子どもの生活に関する調査）〈子ども用〉

【概要】

ひとり親世帯及び小学5年生・中学2年生・高校2年生の子どもがいる世帯の保護者や子ども本人を対象とし、貧困状態にある子育て世帯の経済状況、生活状況、子どもへの影響、支援ニーズ等を把握するために行うものであり、前回調査を平成28年度に実施しています。

※分類の「大阪府共通」は大阪府が実施した「子どもの生活に関する実態調査」との共通項目、「独自」は本市が追加した独自項目

枠	分類	R5堺市 設問番号	内容	備考
属性	大阪府共通	1	年齢（学年）・就学または就労状況	
	大阪府共通	2	性別	
生活習慣・子どもの居場所	大阪府共通	3	起床時間	
	独自	4	帰宅時間	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	5	就寝時間	
	大阪府共通	6-1	食事摂取の頻度（朝食）	
	大阪府共通	6-2	朝食を食べない時の理由	
	大阪府共通	7-1	食事摂取の頻度（夕食）	
	大阪府共通	7-2	夕食を食べない時の理由	
	大阪府共通	8-1	休日の昼食摂取の有無	
	大阪府共通	8-2	休日に昼食を食べない時の理由	
	独自	9	入浴の状況	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	10	遅刻の有無	
	大阪府共通	11	家庭内でのコミュニケーションの有無	
	大阪府共通	12	毎日の生活で楽しいと思うとき	
	大阪府共通	13	放課後または終業後に一緒に過ごす相手	
	大阪府共通	14	放課後または終業後に過ごす場所	
	大阪府共通	15	自宅・学校以外の場所の利用経験・利用意向・利用しない理由	
大阪府共通	16	読書の時間		
	独自（今回追加）	17	スクリーンタイム（インターネット等の利用時間）	インターネット利用時間が増加していると見込まれるため、その時間を把握し、勉強時間やコミュニケーション時間との関連性（インターネット利用の増加が、勉強時間の低下につながっていないか等）を分析する。
大阪府共通	18	授業以外の勉強時間		
独自	19	家で勉強をする場所	前回調査（H28年度）からの継続項目	
大阪府共通	20	家でどのように勉強するか		
子どもの状況	大阪府共通	21-1	授業の理解度	
	大阪府共通	21-2	いつごろから授業がわからなくなったか	
	大阪府共通	21-3	学校や学校の行事ごとにおける状況（忘れ物・欠席等）	
	大阪府共通	22	持ち物の有無	
	独自	23-1	毎月の小遣いの状況	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	23-2	小遣いの使いみち	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	24-1	アルバイトの状況	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	24-2	アルバイトの勤務時間、アルバイト代、アルバイト代の使いみち	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	25	悩み事	
	大阪府共通	26	自分の体の状態で気になること	
	大阪府共通	27	相談先	
	大阪府共通	28	直近の1週間における気持ちや状況	
独自	29	他者との信頼関係	前回調査（H28年度）からの継続項目	
	独自（今回追加）	30	お世話をしている人の有無	ヤングケアラーに該当する子どもの割合と、具体的にどのような内容の支援や介助を行っているかを把握。
		31	お世話の様子（内容、頻度）	
自己肯定感 将来展望	大阪府共通	32-1	自分への自信	
	大阪府共通	32-2	考えをはっきり伝えられるか	
	独自	32-3	大人への信頼感	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	32-4	将来の夢の有無	
	独自	32-5	将来のための努力	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	32-6	就労意欲	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	33	進路・将来の希望	
	独自	34	社会への考え方	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	35	家の居心地の良さ	前回調査（H28年度）からの継続項目
独自	36	幸福度	前回調査（H28年度）からの継続項目	
その他	独自（今回追加）	37	意見聴取の方法について	子どもの意見把握の方法として、子どもが意見しやすい方法を把握し、実施につなげるため。
		38	自由記述	

■ 調査票B（子どもの生活に関する調査）＜保護者用＞

【概要】

ひとり親世帯及び小学5年生・中学2年生・高校2年生の子どもがいる世帯の保護者や子ども本人を対象とし、貧困状態にある子育て世帯の経済状況、生活状況、子どもへの影響、支援ニーズ等を把握するために行うものであり、前回調査を平成28年度に実施しています。

※分類の「大阪府共通」は大阪府が実施した「子どもの生活に関する実態調査」との共通項目、「独自」は本市が追加した独自項目

枠	分類	R5堺市 設問番号	内容	備考
性 属	大阪府共通	1	子どもからみた続柄	
	大阪府共通	2	言語	
世帯の 状 況	大阪府共通	3-1-1	世帯人数	
	独自	3-1-2	介護または介助が必要な人の有無	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	3-1-3	世帯員のうち、18歳未満の子どもの人数	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	3-1-4	小学校入学前の子どもの人数	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	3-2	子どもからみた世帯員の続柄	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	3-3	生計をともにしている人との婚姻関係	
	大阪府共通	3-4	離婚している場合の養育費受取状況	
	独自	3-5	居住地区	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	4	住居	
	独自	5	自家用車の有無	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	6-1	前年1年間の家計の状況	
	独自	6-2	赤字の場合の対応	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	6-3	子どもの将来に向けた貯蓄の有無	
	大阪府共通	7	公共料金や家賃・ローンの滞納の経験	
大阪府共通	7	食費・衣料費・医療費の支払い困難状況の有無		
大阪府共通	8	母親・父親の最終学歴		
就 労 状 況	大阪府共通	9-1-1	母親の就業状況・雇用形態	
	大阪府共通	9-1-2	仕事を探していない理由（母親）	
	大阪府共通	9-2-1	父親の就業状況・雇用形態	
	大阪府共通	9-2-2	仕事を探していない理由（父親）	
	独自	9-3	両親以外の就業状況・雇用形態	前回調査（H28年度）からの継続項目
家 庭 の 状 況	大阪府共通	10	保護者がいる時間帯	
	独自	11	子どもと過ごす時間が長い人	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	12	学童保育の利用有無	前回調査（H28年度）からの継続項目
子 ども の 状 況	独自	13	経済的にできなかったこと	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	14-1	子どもとの信頼感	
	大阪府共通	14-2	子どもとの会話頻度	
	独自	14-3	子どもの生活で気を付けていること	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	14-4	一緒に過ごす時間（平・休）	
	大阪府共通	14-5	将来への期待度	
	大阪府共通	15	進学希望	
	独自	16	進学希望に対する実現見込み	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	17	実現見込みがない理由	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	18	不登校の経験の有無	
	独自	19	家の居心地の良さ	前回調査（H28年度）からの継続項目
独自（今回追加）	20	家庭内のインターネット等のルールの有無	子どもにおけるインターネット時間と勉強時間、コミュニケーション時間の影響が出た場合に、家庭での効果的なルールを把握するため。	
の 子 所 居 と 場 場	大阪府共通	21	自宅・学校以外の場所の利用経験・利用意向・利用しない理由	
親 の 状 況	大阪府共通	22	始めて親となった年齢	
	大阪府共通	23	子供に関する悩み事の状況、相談相手の有無	
	大阪府共通	24	相談相手	
	大阪府共通	25	身近にあるといいと思うこと	
	独自	26	子どもにイライラした感情を向ける経験	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	27	成人する前、家庭内不和の経験の有無	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	28	親の自立度	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	29	生活の楽しさ	
	大阪府共通	29-2	将来への希望度	
	大阪府共通	29-3	ストレス発散方法の有無	
	大阪府共通	29-4	健康度	
大阪府共通	29-5	幸福度		
経 済 的 状 況	独自	30	世帯内で収入のある人の人数	前回調査（H28年度）からの継続項目
	独自	30-2	主に家計を支えている人	前回調査（H28年度）からの継続項目
	大阪府共通	30-3	生活保護受給等、行政による支援制度等の利用有無	
	大阪府共通	30-4	前年の世帯の可処分所得	
		31	自由記述	

■ 調査票C（子ども・若者の意識及び少子化社会に関する調査） <15歳～39歳>

【概要】

（仮称）堺市こども計画の策定にあたり初めて実施する調査であり、15歳から39歳の子ども・若者本人を対象に、子ども・若者を取り巻く諸問題や少子化社会に対し、当事者である子ども・若者がどのように考えており、どのような施策を期待しているのか等を把握するために実施。

※分類の「国共通」は国が過去に実施した「子ども・若者の意識と生活に関する調査」等との共通項目、「独自」は本市が追加した独自項目

枠	分類	R5堺市 設問番号	内容	備考
属性	国共通	1	性別	
	国共通	2	年齢	
	国共通	3	居住地区	
	国共通	4	同居者	
	国共通	5	生計を支えている人	
	独自	6	世帯の年収	既婚者の年収と未婚者の結婚に必要な年収を比較するため
	国共通	7	最終学歴	
	国共通	8	現在の仕事内容	
	国共通	9	就業形態（就労時間）	
	国共通	10	婚姻状況	
結婚・子育て	独自	11	子どもの有無・年齢	属性のため必須
	独自	12	現在の子どもの人数	現在の子どもの数と希望の子どもの数を比較するため
	国共通	13	将来子どもを持ちたいか	
	国共通	14	将来的に持ちたい子どもの数	
	独自	15	子育て施策として重要なもの	少子化対応策を検討するため
	国共通	16	現在の結婚相手・配偶者・恋人の有無	
	国共通	17-1	今後の結婚意向	
	国共通	17-2	結婚するつもりがない理由	
	国共通	17-3	思い描く家族形態	
	国共通	17-4	現在結婚していない理由	
人間関係・自己肯定感	国共通	17-5	相手を探すためにした行動	
	国共通	17-6	結婚する条件	
	独自	17-7	結婚に必要な年収（世帯での）	既婚者の年収と未婚者の結婚に必要な年収を比較するため
	独自	18-1	生活の楽しさ	
	国共通	18-2	将来への希望度	
	独自	18-3	ストレス発散方法の有無	
	独自	18-4	健康度	
	国共通	18-5	幸福度	困難を経験した人（虐待、引きこもり、いじめ、ヤングケアラー等）と比較したり、今後調査を実施するときの経年比較の指標とするため
	国共通	18-6	社会貢献への希望	
	国共通	19	自分の居場所	
	国共通	20	孤独の状況	
	国共通	21	孤独感	
	独自	22	成人する前、家庭内不和の経験の有無	
	独自	23	成人する前のヤングケアラーの経験の有無	虐待、貧困、いじめ、ヤングケアラーを経験した人と比較分析するため。
	独自	24-1	ケアをしていた人	
	独自	24-2	ケアをしていた内容	より精確にヤングケアラーの経験者を把握するため、「ケアした時間・頻度」を問う。（たまにお手伝いで介護をした人などを省く）
独自	24-3	世話の時間		
独自	24-4	欲しかった支援		
国共通	25	人付き合いの程度		
国共通	26	普段自分が時間を使っていること		
引きこもり等	国共通	27	外出の状況	
	国共通	28	外出状況が現在の状態になってからの期間	
	国共通	29-1	外出状況が現在の状態になった年齢	
	国共通	29-2	家族以外との会話の有無	
	国共通	29-3	外出状況が現在の状態になった理由	
日常生活の困難	国共通	29-3	外出状況が現在の状態になった最も大きな理由	
	国共通	30	社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験	
	国共通	31	社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった原因	
	国共通	32	社会生活や日常生活を円滑に送れなかった状態を改善した経験	
	国共通	33	社会生活や日常生活を円滑に送れなかったときの相談先	
	国共通	34	相談したくない理由	
	国共通	35	子ども・若者を対象とした育成支援機関の認知度	
国共通	36	子ども・若者を対象とした育成支援機関の利用経験・利用意向		
その他	独自	37	意見聴取の方法について	子ども・若者の意見把握の方法として、子どもが意見しやすい方法を把握し、実施につなげるため。
		38	自由記述	